



## 【教育目標】

聖書に基づく人格教育 次代を担い得る人材の育成  
国際化時代に即応する能力を育む

戦後 70 年！ 平和への祈り

「いつまでも剣が人を滅ぼしてよいものか。  
その果ては、ひどいことになるのを知らな  
いのか。」(サムエルⅡ 2 : 26)

幼い子供を抱えた難民家族、壊れかけたボートから必死に逃れ、中には力尽き浜辺に横たわる遺体。悲惨な映像が何度となくテレビから流れます。またテロと報復の爆撃。貧しく難民にもなれない多くの家族がその爆撃機の下で命を落としていることも想像に難くありません。胸が締め付けられる戦争の悲惨と残酷さです。

戦後 70 年、ただ 70 年の月日が流れたという記念だけではありません。悲惨な戦争を体験された方々、また戦後の混乱した時代に食糧不足などから辛うじて生き延びて来られた世代の方々、その生の声が直接聞ける節目の年になるだろうという意味があります。ご高齢になり残念ながら記憶も薄らぐ中で、歴史の証言者としての存在は大変重く尊いものです。現在そして未来に生きる若者たちにとってもその「いのち」の言葉は大変貴重な証言です。

一方、この 9 月に残念ながら安保法制が強行採決されました。多くの先人が知恵を絞って守ってこられたこの国の礎である平和憲法が悲しんでおります。

チーフースクールは夏休みを利用して（7 月 24 日～8 月 6 日）三浦綾子文学展「銃口」を開催し、70 名を越す来場者がありました。一部にチーフースクールの歴史的な資料と概要を記したパネルを展示し、三浦綾子さんご夫妻がチーフースクールを訪てくださった記事も紹介することができました。

「敵意と疑いを超えてゆく人間の真実を描いた小説『銃口』は、時代を越えてわたしたちに友情と平和の尊さを訴えかけるテーマです。

「彼らはその剣を鋤に、その槍をかまに打ち直し、国は国に向かって剣を上げず、二度と戦いのことを習わない。」(イザヤ書 2 : 4)

最後になりましたが、過日チーフースクールの窮状のために、お祈りとご協力のお手紙（代表品田与志夫 筆）を差し上げましたところ、たくさんのお祈りと心温まる尊いお献げものを頂き、心より主に感謝申し上げます。愛と平和の君、聖なる方の誕生～クリスマス～の祝福が皆様の上に豊かにありますように！

また、よき新年をお迎え下さい。

校長 庄 司 信 雄

## 【失敗から学ぶ】旧約篇／シリーズ 4

## — 世俗的な信仰者 ロト —

## 【序】ロト＝悲しみと幸せ

創世記 11 章 28、31、12 章 5 節を見ると、ロトは父ハランの早逝によって、伯父のアブラハムに育てられます。それは彼にとって、悲しみの中にも幸いであったと思います。なぜなら、その伯父は、真の神から特別に選ばれ、全ての人の祝福の基となった人であり、ロトもその祝福に与る事が出来たからです。そればかりか、伯父の許で家畜を飼う者として必要な全ての事を学び、身につけ、やがてロト自身の一家を形成し、幾人もその牧者を雇うまでになったからです。

## 1. ロト＝土地の選択を誤る

ところが 13 章を見ると、家畜が増えるに従って、ロトの牧者と伯父の牧者との間に牧草地を巡って争いが生じ、アブラハムはこれを避けるために、ロトに自分の好きな土地を選び、そこで家畜を飼う様に勧めます。早速ロトは、周りを見渡し、家畜を飼う最適の地として、ヨルダンの低地を選び取りました。ここで彼は大失敗をしてしまいます。14 章へ行くと、その地は、近隣の国々に襲われ、何もかも持ち去られてしまいます。それでも幸いに、伯父の命懸けの追跡で、全財産と妻子を取り戻す事が出来ました。

普通ならば、ここで目が覚め、今度こそ神に祈り、導きを求むべきでしたが、彼はそうせず、そのまま住み続けたのです。その結果、19 章に至って、その地は、淫乱と好色が酷すぎるとの理由で、神に滅ぼされる事になり、ロトは最愛の妻と全財産を失う事になったのです。

しかしロトの悲劇は、それだけで留まりません。ソドムとゴモラの町の滅亡で自分たちの夫を失ったロトの娘たちは、子を得る道がなくなったと言って、父に

酒を飲ませて関係を持ち、姉は子を産みモアブと名づけ、妹もベン・アミという子を得ました。この二人の子は後に、モアブ人とアモン人の先祖となり、歴史を通して、イスラエルを悩ます国となって行きます。それにしても何という醜態！

## 2. ロト＝その失敗と原因

信仰の父と呼ばれる伯父のアブラハムに育てられ、真の神を信じる幸いと祝福に与りながら、ロトはどうして失敗をしてしまったのか。その原因はというと、

**a, 借りものの信仰**～ペテロ第二 2 章 7 節に、ロトは義人と記されているのを見ますが、彼の信仰は、伯父のアブラハムの信仰に寄り添っただけで、自立したものではなく、借りものでしか無かった事を見ます。それは伯父から独立し、新しい土地を探そうとした時、彼がした事は、神の御旨と導きを求めないで、自分の目で見、ソドムとゴモラの町を最善の地と判断し、そこに出掛けた事です。彼の失敗は、そこから始まったのでした。

**b, 祈りのない生活**～二つ目は、自分と子々孫々に至る将来の全てが掛かる大切な選択に当たって、先ず神に祈るべきものを、彼はそうせずに、視覚や経験で判断した事です。しかしその判断には、その地が間もなく滅ぼされるに至る事は見えませんでした。最も賢い選択だったと自負したかも知れないが、最も愚かな結論を引き出すに至ったのでした。

**c, 世俗的な生き方**～ロトの妻や娘たちを見る時 (19 : 14)、ロトの妻や娘たちの生き方も、この若者と同様、全てが、世俗的なものであったのを見ます。しかし世俗的な考え方や生き方は、いつの時代でも、信仰者にとって大きな誘惑です。それだけに、気をつけて行かなければなりません。

代表役員 品田与志夫

## チーフキッズ

教師 橋本弥生



今年度は7組の親子と一緒に週1回活動しています。体験も受付していたり、キッズを卒業したお姉ちゃんや、お兄ちゃんも参加することもあるので、部屋が満員!□になってしまう嬉しい日もあります!そして、昨年度で4人の子ども達がキッズを卒業してボランティアでスタッフに加わって下さったお母さんもいて、感謝です。

10月には月に1回の母の会でテキストとして使用していた「今子育てに必要なこと」の著書である金子耕式先生の講演会をお隣の七飯教会で開いて頂きました。3回目ですが今回から託児も付け、より聞きやすくなりキッズのお母さんのみならず、沢山のママ達また教育関係者の方々に集まって頂きました。また、昼の部と夜の部の2回講演にし、昼も夜も参加して下さった方、昼に参加し夜はパパも一緒に参加して下さった方もいました。先生は子どもとの時間と感動の共有を大切にということを中心に愛着形成のことに



も触れ、待機児童を無くそうとしたり、育メン、主夫といった言葉も出てきて女性の社会進出を進めようとしている社会の流れの中にあっても、男女の機能、特性の違いから父親と母親の役割の違いがあるということ、だから、なるべく子どもが小さなお母さんが側にいて欲しい、特にお母さんが必要なんだとはっきり語って下さり、子育てという仕事は何よりもまして尊い事だと教えて頂きました。その後の母の会でも子育ての価値ある仕事の為にお母さん同士励ま

し合うことが出来ました。

今年度で4人の子ども達が幼稚園に行ってしまうので、来年度新たな親子が与えられるようにお祈り下さい。

# 感謝申し上げます

主イエス・キリストの御降誕を、心からお祝いし、お慶び申し上げます。

今年もクリスマスを迎えました。皆様には、ご収入の日をどの様に、お過ごしでしょうか。

去る9月の、当学園の責任役員会で校長から、専従の教職員の謝儀が2ヵ月分欠配になっている旨が報告され、皆様にお祈りをお願い致しました所、多くの方々から、願いに優るご支援を賜わり、欠配となっていた謝儀は勿論これから支出が予想される多額の暖房費も十分支払う事が出来るだけでなくチーフ学園が開校以来、初めてとなるボーナスを1ヵ月分支給する事が出来ました。本当に有難うございます。

右記の中間報告をご覧頂きますと、収入の部の「一般会計」が、11月末までの累計が、予算に対して165%になっています。9月末の時点では、30%で、金額も597,970円だったものが、10月と11月の2ヵ月間で、2,711,260円もの献金を、お寄せ頂いた事になります。これは奇跡という他にありません。主イエス様に感謝致しますと共に、尊いお祈りとご支援を賜りました皆様にも、心から感謝申し上げます。本当に有難う御座います。

それにしてもご献金を下さいました方々の中にはボーナス等頂いた事はないと仰る方もおいでかと思えます。しかし10名の教職員に対して、総額で127,000円で、1人の公務員の方が頂く何分の1かの金額です。どうかお許し下さい。しかもそれを涙を浮かべながら感謝して受け取る姿に、許されますなら来年も出来たらと、願わされた次第です。今1度感謝しご報告申し上げます。祝されたクリスマスと新年を迎えられますように。

代表役員 品田与志夫

	予算	年間	累計	%
一般献金		2,000,000	3,309,230	165
慶祝献金		80,000	20,000	25
入学献金		47,000	8,000	17
学習献金		636,000	283,600	45
特別献金		150,000	160,000	107
集会献金		9,000	14,000	156
宿泊献金		15,000	23,300	155
暖房献金		48,000	14,000	29
食事献金		304,700	177,600	58
雑収入		10,000	10,183	102
繰越金		288,446	288,446	
計		3,588,146	4,308,359	
施設管理費		50,000	0	0
修理営繕費		100,000	36,501	37
備品購入費		70,000	35,865	51
事務管理費		50,000	33,048	66
消耗品費		25,000	28,870	115
衛生費		5,000	3,703	74
電気ガス水道暖房費		780,000	321,019	41
会議接待費		5,000	1,570	31
教材費		15,000	11,095	74
通信費		110,000	85,563	78
図書費		5,000	1,400	28
キッズ費		40,000	40,000	100
行事礼典費		53,000	15,291	29
研修費		10,000	0	0
謝儀人権費		1,506,500	994,350	66
広報渉外費		55,000	26,470	48
給食費		322,300	181,650	56
保険費		72,000	71,856	100
予備費		314,346	32,158	10
計		3,588,146	1,920,409	

次月への繰越金は、2,387,950円となります。

発行：チーフ・クリスチャン・スクール

〒041-1111 北海道亀田郡七飯町本町6丁目7-3 1チーフキリスト教学園

TEL：(0138)64-4177 FAX：(0138)64-4177 郵便振替：02780-4-78509